

令和２年度第２回千葉県防災会議

- １．議 題 千葉県地域防災計画の修正（案）について
- ２．委 員 千葉県防災会議委員５２名（会長を除く）
- ３．開 催 令和３年３月２５日書面開催
- ４．開催結果 承認５２名 否承認０名
修正（案）のとおり千葉県地域防災計画の修正を決定した。
- ５．意見等

委員からの意見、質問等	事務局からの回答
地勢概要等のうち、県の面積については、令和２年全国都道府県市区町村別面積調による最新のデータを使用してはどうか。	地勢概要等については、御意見のあった面積以外のデータも記載しているため、県の統計資料である千葉県勢要覧のデータにより統一しています。
要配慮者等の安全確保対策のうち、外国人への対応であるが、千葉県は、平常時から（公財）ちば国際コンベンションビューローと連携して、語学ボランティアの人員確保を行っているか。 また、毎年、名簿の提出による語学ボランティアの確認を行っているか。	県では、平成２３年度から「災害時外国人サポーター養成講座」を実施しており、受講者に対し、語学ボランティアへの登録を呼びかけているところです。 語学ボランティアの名簿については、平時は（公財）ちば国際コンベンションビューローが管理していますが、発災時には、県災害時多言語支援センターへ引継ぎ、運用することとしています。 また、通訳・翻訳者が不足する場合に備え、全国の地域国際化協会と応援協定を締結しており、人員の確保に努めています。

委員からの意見、質問等	事務局からの回答
地質構造・活断層に関する調査研究のうち、地盤沈下に関する調査研究に「地形分類」または「微地形分類」を追記されたい。地表に近い浅部の地盤の把握が重要なことは本文のとおりだが、それは微地形分類から高い確率で知ることができるためである。	御意見を踏まえ、以下のとおり該当箇所の下線部分を追加いたします。 ア 地震防災対策にあたっては、人工地層、沖積層、下総層群最上部などの地表に近い浅部の地質構造・層序及び<u>それらを反映した微地形分類</u>を詳細に把握することが重要となる。
地質構造・活断層に関する調査研究のうち、液状化―流動化に関する調査研究にある「流動化」という文言は削除した方がよい。砂地盤が地震時に液体状になる現象は「液状化」であり、現在では「流動化」という言葉は使われていない。	御意見のとおり、該当箇所から「流動化」を削除いたします。
千葉県は大きな県で、防災上の観点からの地域性も変化に富んでいる。その観点からの防災計画上の言及が望まれる。(例：県南部は丘陵地帯でありアクセスが限られている、など)	第1編第4章地勢概要等において、地域性について記載しております。 また、発災時に予想される交通の混乱に対応するため、交通の確保・緊急輸送対策についても併せて取り組んでいます。
千葉県には山岳地帯がなく、上水道の確保に不安がある。防災上、長期的な課題と言える。	御意見のとおり、千葉県では水源となる大河川が限られています。 渇水時の応急給水等の対策については、水道事業体等関係機関の相互の連携のうえ、取り組んでまいります。 また、水道の安定的な供給は県民生活に不可欠であり、引き続き、検討を続けてまいります。

委員からの意見、質問等	事務局からの回答
千葉県公認心理士協会では、被災により生活の基盤を喪失した方への心理支援など、必要に応じて、健康福祉センター（保健所）や市町村に協力して行きたいと考えております。	災害時において、被災者への心理支援は重要と考えております。 県では、状況に応じ、関係機関と連携し、避難者等のこころの健康相談や支援者へのメンタルヘルスの啓発活動を実施いたします。